

国民健康保険の財政運営を県単位に拡大します。

国民健康保険(国保)の制度は、平成30年4月から「各市町村ごとの運営」から「県域での運営」に変わります。

平成30年度の主な取組

- 国民健康保険の県単位化に伴い、新たに国民健康保険事業費特別会計を設置
 - ・(新)(仮称)国保事務支援センターの設置

○平成30年4月から、県も市町村とともに国保の運営に加わり、国保の財政運営を市町村単位から県単位に拡大します。これにより、予期せぬ医療費増等の財政リスクの軽減など、**国保運営の安定化**につなげます。

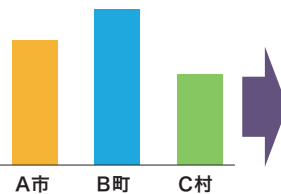
○「**同じ所得・世帯構成であれば、県内のどこに住んでも保険料が同じ**」(平成36(2024)年度予定)になることを目指し、**加入者の負担の公平化**につなげます。

○医療費は毎年増加の傾向ですが、今回の国保制度の改正によって保険料負担が一定程度増加する加入者については、一度に過度な負担増とならない仕組みを設けます。

○必要な医療サービスを安心して受けていただけるよう、県、市町村、関係機関が連携して、引き続き、**医療提供体制の整備**や**医療費の適正化**に取り組んでいきます。

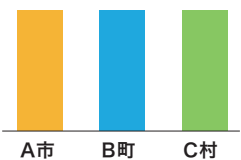
関連予算 H30:125,850百万円(H29:-百万円)

保険料(現行)



同じ所得・世帯構成でも、市町村間で加入者の保険料には、差があります。

保険料(H36年度～)



同じ所得・世帯構成であれば、加入者の保険料に差はなくなり、公平となります。

加入者の皆さんにとっては、将来的に急激な保険料上昇が起きにくくなり、**安心**につながります。

県民が安全で安心して快適に暮らし続けられる奈良県づくりを進めます。

未就学児の医療費助成における現物給付方式の導入に向けた取組を推進します。

未就学児の医療費助成について、平成31(2019)年8月からの現物給付方式導入に向け、市町村とともに取組を進めていきます。

関連予算 H30:48百万円(H29:-百万円)

平成30年度の主な取組

- (新)未就学児の医療費助成における現物給付方式の導入準備

【現物給付方式の導入に伴う変更点】

○平成31(2019)年7月診療分まで(自動償還方式)
→受給者は医療機関窓口で自己負担部分(医療費の2割)を支払い、後日、市町村から福祉医療一部負担金を控除した額を受給者の口座に振り込み



○平成31(2019)年8月診療分から(現物給付方式)
→受給者は医療機関窓口で福祉医療一部負担金のみを支払い

病児保育施設の充実を図ります。

子育て世代が、安心して働きながら子育てができるよう、病気の子ども等を一時的に保育するための病児保育施設の整備等を促進することにより、県内の病児保育施設の充実を図り、「子どもを生み育てやすく、子どもが健やかに育つ奈良県づくり」の実現を目指します。

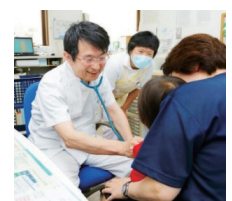
関連予算 H30:33百万円(H29:-百万円)

平成30年度の主な取組

- 病児保育施設の整備等に対する支援

【市町村等が実施する病児保育施設の整備等に対する支援】

- 平成30年度整備等予定市町村
 - ・奈良市：新設(1箇所)
 - ・香芝市：新設(1箇所)
 - 設備整備(1箇所)



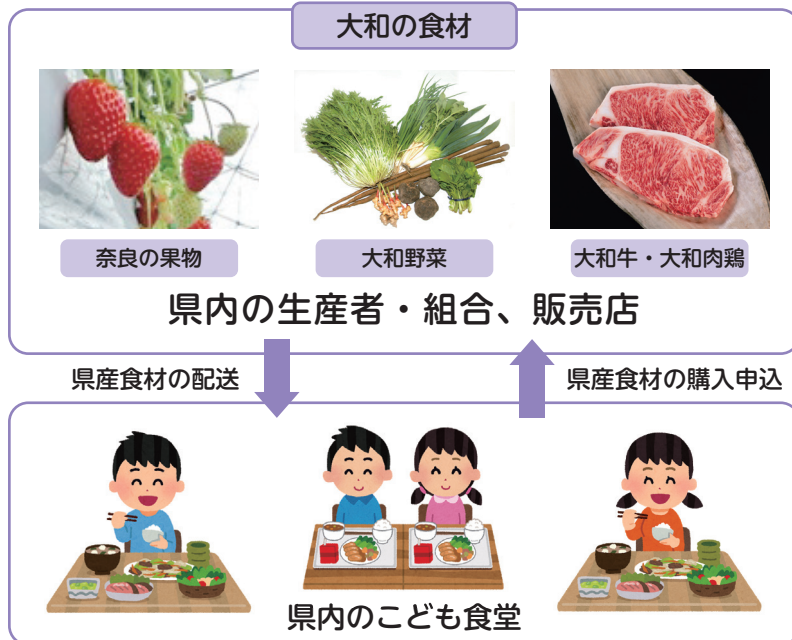
奈良県版「美味しい食事」提供を進めます。

学校・病院・介護施設等の給食、こども食堂等で新鮮な県産食材を活用した「美味しい食事」を提供する仕組みを構築し、奈良の食の魅力向上及び県産食材の消費拡大を図るとともに、主菜・副菜バランスの取れた食事を提案することで、県内全域での食による健康づくりを進めます。

平成30年度の主な取組

- 学校給食への活用推進
 - ・(新)地域連絡協議会等の設立・運営支援
 - ・学校給食で活用できる県産食材の開発
 - ・(新)栄養教諭等への県産食材情報・調理方法の発信
- こども食堂への普及
 - ・(新)「こども食堂」への県産食材の提供
- 病院・介護施設等の実態把握
 - ・(新)病院・介護施設等の実態調査
- 県内全域への県産食材・食文化・食育の普及
 - ・県産食材・食文化・食育の普及を図る民間団体等への支援
 - ・県内全域への食育の普及

関連予算 H30:15百万円(H29:16百万円)



【こども食堂への普及イメージ】

県民が安心して暮らせる防災・減災対策を推進します。

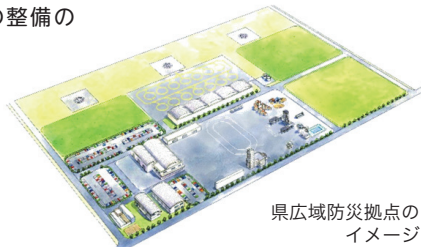
奈良県広域防災拠点の整備及び陸上自衛隊駐屯地誘致の推進や防災・減災を目的とした基盤整備等により、県民が安心して暮らせる防災・減災対策を推進します。

平成30年度の主な取組

関連予算 H30:3,733百万円(H29:3,956百万円)

奈良県広域防災拠点の整備

- 広域防災拠点の整備検討
 - ・南海トラフ巨大地震等が発生した際、県内外からの大量の人的・物的支援を受け入れて迅速に支援できる広域防災拠点(防災基地)の整備のための検討

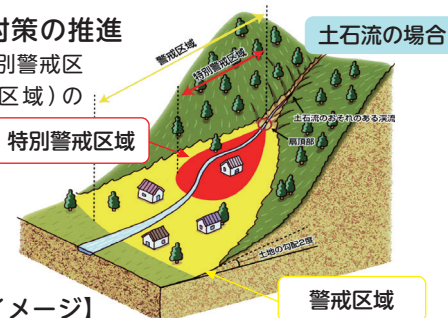


大和川流域総合治水対策の推進

- 大和川流域の力を集結した洪水対策
 - ・近年の集中豪雨の多発等に対応するため、河川改修や内水対策施設、流域貯留施設等を推進
 - ・浸水常襲地域において、市町村が実施する流域対策に対する技術支援を実施 等

土砂災害対策の推進

- 土砂災害対策の推進
 - ・土砂災害特別警戒区域(レッド区域)の指定推進



陸上自衛隊駐屯地誘致の推進

- 駐屯地誘致のための調査等
 - ・陸上自衛隊駐屯地誘致の早期実現に向けた各種取組を実施(国への提案・要望活動、駐屯地誘致のための調査、誘致機運の醸成のための県民向けイベント開催) 等

「なら四季彩の庭」づくりを進めます。

奈良県植栽計画（「なら四季彩の庭」づくり）を推進し、**四季の彩りが感じられる植栽景観**の整備を進めます。

関連予算 H30:20百万円(H29:27百万円)

平成30年度の主な取組

- 四季を通じて彩り豊かな植栽景観を向上させるための植栽計画を推進
 - ・(新)エリア別ワーキンググループの設置・運営、景観創造推進本部彩りづくり部会の運営等
- 植栽等により景観の向上に取り組む市町村や地元団体等を支援
- 「なら四季彩の庭」シンボルマークを使用したプレートの設置
- ジャーナルや県ホームページで、植栽計画の整備内容や進捗状況を発信



「なら四季彩の庭」のプレート



ジャーナルの発行

【植栽等による景観の向上に向けた取組事例】



竹林伐採と植栽による植栽景観の向上(奈良市水上池)

【植栽計画のエリア：54エリア】

- 平城宮跡、大宮通、矢田丘陵、郡山、大和三山、王寺、馬見丘陵公園、信貴山・大門ダム、室生、曾爾、吉野山、吉野川沿、天川・洞川、上北山、下北山、十津川・玉置山、野迫川 等

奈良県経済の好循環を促進し、働きやすく、良く学べる地域社会をつくれます。

企業誘致に向けた**工業ゾーン**の創出を進めます。

県内経済活性化のために、更なる企業誘致のための新たな産業用地の確保に向けたプロジェクトを推進します。

関連予算 H30:75百万円(H29:93百万円)

平成30年度の主な取組

京奈和自動車道御所インターチェンジ周辺工業ゾーンプロジェクト

- 京奈和自動車道御所インターチェンジ周辺において、産業集積地を形成するため、事業用地の取得及び造成工事の推進等を実施



御所インターチェンジと産業集積地予定地

京奈和自動車道及び西名阪自動車道周辺工業ゾーンプロジェクト

- 企業立地の魅力が高まる京奈和自動車道及び西名阪自動車道周辺において、関係市町村と県が連携して工業ゾーン創出に向けた取組を実施
 - ・企業及びデベロッパーの誘致促進
 - ・工業ゾーン用地確保のための耕作放棄地再生
 - ・特定農業振興ゾーンの設定支援



企業立地の魅力が高まる京奈和、西名阪自動車道周辺